

# 会 議 録

作成年月日

平成 28 年 8 月 26 日 (金)

日 時	平成 28 年 8 月 22 日 (月) 20:00~22:30
場 所	阿波連生活館
出 席 者 (敬称略)	池松来、國吉真之助、國吉晴大、金城肇、金城雄治、金城渉、関根史郎、田中守、長谷和典 (ライヴス) 黒岩考自、草間亜沙子、石川怜菜
議 題	第二回渡嘉敷島ガイドブック制作委員会
<p>(1) ページ構成について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・作り手の紹介したいものを紹介する本ではなく、渡嘉敷に到着してからの流れで紹介したほうがいいのか</li><li>- バスはどこから乗ればいいのか</li><li>- ○○にはどうやっていったらいいのか</li><li>- どこに問い合わせたらいいのか</li><li>- 事業者をインデックスで紹介するよりは情報をリンクさせて紹介したほうがいいのか</li><li>- ビーチの紹介</li><li>- マリン事業者の紹介</li><li>- 周辺の飲食店</li></ul> <p>(2) 掲載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・宿泊・マリンサービスは事前に予約してくる。飲食、土産物などの情報を載せたほうがいいのか</li><li>- そのあとにマリンアクティビティ等当日受け入れができるショップを載せてはどうか</li><li>- 当日予約ができる事業者をインデックスから探すのではなく、当日予約可能なショップとして紹介</li><li>・掲載スペースの問題がある</li><li>- 渡嘉志久では、マリンスポーツ、飲食ができる場所は二か所</li><li>- 渡嘉敷では飲食は三か所</li><li>・港からの交通、船の利用案内は必要</li><li>・緊急連絡先、マナーについては入れる必要がある</li></ul> <p>(3) 利便性向上のための掲載について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・渡嘉敷は、利用方法が確かにわかりづらい</li><li>- 来た観光客がきちんと地区間を回遊するような仕組みを移動手段も含めて案内すべき</li><li>- ビーチ間の移動方法も分からないのに、各ビーチのサービスを説明しても意味がないのではないか</li><li>- 現状をそのまま説明するパンフレットではなく、ランチの課題や移動の課題など、せっかく作るんだから、提案できる内容を考えて作った方がいい</li></ul>	

- ・コラム情報を充実させる案はいいと思う

- 「サンゴは踏むな」という注意事項ではなく、「この島ではこんな取り組みをしています」という、お客さんが共感を持てるような伝え方をしたほうがいい（その方法がコラムなのか、どうかはわからないが）

- ・モデルコース、モデルルートを掲載してはどうか

- いくつかを紹介してあげてもいいのかもしれないと思っている
- こちらが紹介したいことと、旅行者が知りたいこととをバランスよく、どちらも伝えることが必要なのでは？と思っている

- ・モデルルートによってお客さんの関心が狭まる可能性があるのではないか

- モデルルート以外の楽しみ方を発見できなくなるのでは？
- 後半に事業者情報が固まって乗っていたら、ほとんど見てもらえない事業者も出てくる

- ・港でよく聞かれるのは・・・

- 実際に港で観光客に接していると、ノープランできて「なにしたらいいの？」という状態のお客さんが多い。それに答えられない。

- ・提案型にするのか、辞書のようなものを作るのか、どちらで行くのか、を決めることがまず必要

- こういうことをしたいときにできる事業者はどこなのか？ということを正直に紹介しようとするなら、偏りなく全ての事業者を平等に紹介することは無理なのでは？どちらを重視するか決めるべき
- 定期的に作り変えるから、偏りがあるものでも載せるのか。なんのために、だれのために作るのか？を決めなくては内容を詰めていけない。

- ・渡嘉敷島の本当の魅力に気が付かないままに帰ってしまう

- 連動性をもっとつけばいい

#### (4) ガイドマップ以外の利便性UPのための施策について

- ・すべての情報をガイドブックに載せるとページ数が足りなくなってしまうので、この情報は看板で港に掲示する、等を考えたほうがいいと思う

- ・誰のための本なのかと考えると、リピーターも見るとは思うけど、やっぱり初めて来る人が多いと思う。フェリーで来てフェリーで帰る、高速船を使う、など滞在時間別にできることを紹介して、次は宿泊をしたい、と思わせられるような渡嘉敷の魅力を伝えられればいいのではないか

#### (5) 交通手段についての見開きページ

- ・案内掲示板

降りたときにバス停、矢印案内（こう動きなさい）という案内が足りない

次年度以降の予算で作らしましょう、今はガイドブックについて話す、をいう場ではあるが、この機会に必要な標識などについても意見を出した方がいいのでは。

(6) ページ構成について

- ① 交通手段についての見開きページ
- ② 食べる、遊ぶ、泊まる、について、それぞれの見開きページ

を作る。

- ・目的（食べる、遊ぶ、泊まる）ごとに並べる
- ・目的見開きページごとに簡易地図を載せる
- ・事業所インデックス
- ・地図・インデックスを見ながら予約できる（連絡先）
- ・連絡先以外の情報（営業時間、休業日）は変わることも多いため、のせられない

るるぶ等現行のガイドブックを参考にしたらいいのでは？

(7) コンセプトページについて

・どうやって自然を守ってきているんだ、という自然保護の視点をもっと入れたほうがいいのではないか。1～2頁の見開きだけでなく、表紙にも貴重な自然環境の場所であることを記載すべき。ごみのポイ捨てについて等、注意喚起を行う内容を目立つ場所に掲載すべき。

(8) 今後の進め方について

・これまでの制作委員会で、それぞれ得意分野のある人たちが集まっているので、頁やジャンルごとに担当を決めて、内容を具体的に作り込んでいった方がよい。そうでないと仕上がらない。  
・今後は、集まる会以外にも、メールや村HPを使って情報共有しながら進めていってペースアップすべき。

以上